

郷土芸能保存連合会発表会

1月13日(日)、村体育館において、第47回東通村郷土芸能保存連合会発表会が開催されました。

発表会は、小田野沢神楽会の「二人平獅子」で幕が開けられ、村内15団体が出演し、脈々と受け継がれてきた伝統の舞15演目が披露されました。

「能舞」「獅子舞」「神楽」と各団体が継承されている演目は異なりますが、どれも中世の舞と音色をそのままに伝えており、訪れた観客はその幽玄な舞に魅了されていました。

昨年に引き続き、株式会社尻屋観光のご協力により、村内と会場を結ぶ無料送迎バスが運行され、多くの観客で賑わいました。

また、村内のみならず県内外からも多くの観客が訪れ、伝統の舞をカメラに収めようとカメラやビデオを構えながら、中世より伝える舞と音色を堪能していました。



平成24年12月15日(土)、こども園ひがしどおりにおいて、第1回おゆうぎ会が行われました。平成24年4月に開園し、初めて行われたおゆうぎ会は、第1部と第2部に分かれ、0歳時から5歳児のかわいい遊戯や劇など、全36演目が披露されました。

おゆうぎ会には、わが子や孫の晴れ姿を見ようと、早朝より多くのお客さんが集まり、園児の元気いっぱいのかわいらしい踊りが披露されるたびに、大きな歓声と拍手があがっていました。

**こども園ひがしどおり
第1回おゆうぎ会**